

STEP BY STEP

再審の壁を打ち破れ！

6月5日、福岡高裁宮崎支部は、大崎事件の再審開始を認めない決定を出しました。地裁決定ともども、新証拠の価値を一定程度認めながらも再審開始を認めないのは、明確な白鳥・財田川決定無視の判例違反ではないか！
4年前の最高裁の破棄自判に支配され、思考停止に陥った末の不当決定です。何とか96歳になられた原口アヤ子さんがご存命のうちに、特別抗告審で最高裁に自らの罪の清算をさせる他ありません。

また7日は豊川幼児殺人事件でも、名古屋高裁が再審開始を認めない決定を出しました。一度の三者協議も開かれずに、です。なぜ審理もせずに「犯行についての事実認定に合理的な疑いを生じさせるとは言えない」などと言えるのでしょうか。手続き規定のない現行の再審法では、仲間を救えないことが、またも明らかになりました。

今国会では入管法の改悪が強行されました。入管では2年前にウィシュマ・サンダマリさんが適切な医療を受けられないままに亡くなり、非人道的な扱いが問題視されました。入管も法務検察の管轄です。罪なき人々をあたかも罪人のように扱い、誤って人命が奪われれば組織防衛に走るのです。このような組織に再審法改正に関わらせてはなりません。何としても議員立法での改正を目指しましょう。

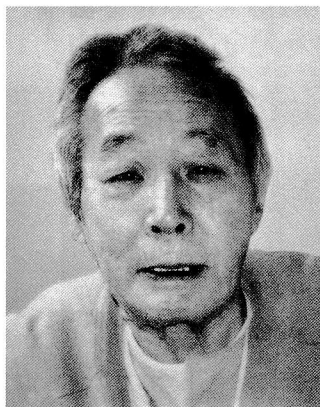
なお6月16日、日弁連の定期総会において、再審法改正を求める決議が圧倒的多数で可決されました。機は熟しました。（事務局/野島美香）



1984年3月13日の夕刊。4大死刑冤罪事件と呼ばれる冤罪事件の1つ、財田川（さいたがわ）事件の冤罪犠牲者で34年間も死刑執行の恐怖に怯えた谷口繁義さんが、郷里に帰ったというニュース。

事件がなければ今頃

阪原弘次



在りし日の阪原弘（ひろむ）さん。

最近私は、あのとき父は逮捕されるべきではなかった、あのとき父は有罪判決を受けるべきではなかった、あのとき父は死ぬべきではなかったと、訴えて各地を回っています。

日野町事件、それは1984年日野町豊田にある酒店に押し入り、女店主を殺害、ご遺体を日野町外れの宅地分譲地に遺棄、店内にあった現金5万円の入った金庫を奪って逃げたとされる強盗殺人事件です。

毎日のように酒店に出入りしてコップ酒を飲んでいた父、阪原弘は事件から3年後、逮捕起訴され有罪判決を受けました。獄中より無罪を叫び続け、刑務所を出て家族と暮らせる日を夢見て頑張っておりましたが、逮捕から24年後、無念の内に刑務所内で亡くなってしまいました。事件から3年後の逮捕と申し上げましたが、実は発生から半年後、父は警

察に呼ばれて事情聴取を受けています。このとき逮捕状が用意されていたことが最近になってわかってきました。

しかし逮捕されることはありませんでした。父にアリバイがあったからです。その日、父は酒店ではなく、村はずれのあるお宅で忘年会に参加していて、酔いつぶれ朝まで寝ていたのです。当然、警察はウラを取ります。それが立証されたからこそ逮捕することが出来なかった。その後、2年半もの歳月をかけて警察はアリバイをつぶし、そして父を逮捕したのでした。

7年半にも及んだ確定一審の裁判は殺害したご遺体を軽トラの荷台に乗せ、覆いもせずに日野町に一つしかない繁華街を通るとか、遺棄後再び酒店に戻り店内で朝まで酒を飲むとか、まだ暗い石原山をサンダル履きで金庫を壊し投棄するとか、そもそも金庫の中には現金などは入

※日野町事件で殺人犯の汚名を着せられたのが、阪原弘（ひろむ）さん。その遺志を継いで闘っているのが、長男の弘次（こうじ）さんです。

っていなかったなど、およそ犯行に及ぶには信じられない裁判内容となりました。

これでは有罪判決が書けないと思った裁判官は、犯行時刻、犯行現場被害品などをぼかして訴因を変更するよう検察を誘導、それに従った検察官は、犯行現場を日野町又はその周辺、犯行時刻を夜の8時半頃から次の日の朝8時ごろまで、被害品も在中現金不詳の金庫と、訴因を大幅に変更して提出。これを受けて裁判所は無期懲役の判決を出しました。あまりにもひどい、あまりにも理不尽な。

父は何故逮捕されなければならなかったのでしょうか、何故有罪判決を受けなければならなかったのでしょうか。なぜ死ななければならなかったのでしょうか。生きていて「弘次お帰り、たまには二人で一杯やろか」と、あの素敵な笑顔で私に話しかけている、そんな光景をいまでも想像してしまうのです。

(2023年6月7日/阪原弘次)



再審開始決定の判決文を高く掲げる阪原弘次さん。

冤罪犠牲者の会 4年間の歩み

- 2019/3/2 冤罪犠牲者の会結成
- 2019/5/20 再審法改正をめざす市民の会結成
- 2019/8/26 日弁連会長に面会を申し入れ
- 8月 5項目からなる実現目標を策定
- 10月 国会議員アンケートを全議員に送付
ホームページを公開 <https://enzai.org/>
- 12月 コロナウィルスが日本に上陸

2020年 ゴーン氏の海外逃亡で新年が明ける

ダイヨーカンゴクは寿司、スキヤキに並んで海外でも通じる日本語になってしまいました。



桜井昌司さんの声かけで多数の冤罪当事者が集結。



2020/2/18 第1回イベント「山際永三講演会」当事者の声は折山敏夫さん

※山際永三さん 映画監督、演出家、評論家。首都圏女性連続殺人事件や狭山事件などの冤罪支援運動や死刑制度廃止運動、被逮捕者の人権擁護運動などでも知られる。

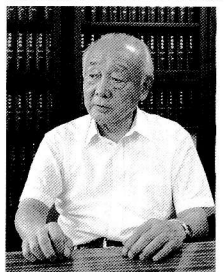
7月 冤罪被害アンケート開始…取り調べ中の暴力や誘導がなかったか、拘留期間の長さ、など様々な項目について聞いています。

8月 会員が100名に



2020/9/26 第2回イベント「高杉晋吾講演会」
ゲスト：安田聡さん（部落解放同盟中央本部）

※高杉晋吾さん 社会評論家、ジャーナリスト。著書『地獄のゴングが鳴った』で袴田事件を世に知らしめる。



2021/1月 冤罪当事者交流会…冤罪当事者同士の意見交換会を行いました。

2021/6/7 初の院内集会主催イベント「菊池事件-司法の責任を問う」

※徳田靖之弁護士 ハンセン病や薬害エイズ訴訟で患者とともに長年闘ってきた人権派弁護士。感染症に対する偏見や差別に警鐘を鳴らしている。

2021/10/16 第4回イベント「森田義男講演会」

※森田義男さん 行政書士、司法書士。行政訴訟に関わる中で裁判所のあり方に疑問を感じ、『裁判所の大墮落』を刊行。



2022/2/2 「再審法改正を求める院内集会～証拠開示の制度化と検察官不服申し立ての禁止を実現するために～」(主催：日弁連)

これを機に「再審法改正をめざす市民の会」と「冤罪犠牲者の会」は再審法改正の実現ま

では共同歩調を取っていこうと合意。国会議員要請も共に行動。

2月 日弁連新会長に小林元治氏就任（再審法改正を公約に掲げて当選した初めての会長）

2月 ロシアによるウクライナ侵攻開始

2022/5/27 「許すな！証拠隠し 止めろ！検察上告～再審法改正をめざす議員と市民の集い」周防正行監督×桜井昌司さん×金聖雄監督の鼎談（衆院第一議員会館）

主催：「再審法改正をめざす市民の会」/後援：「冤罪犠牲者の会」)

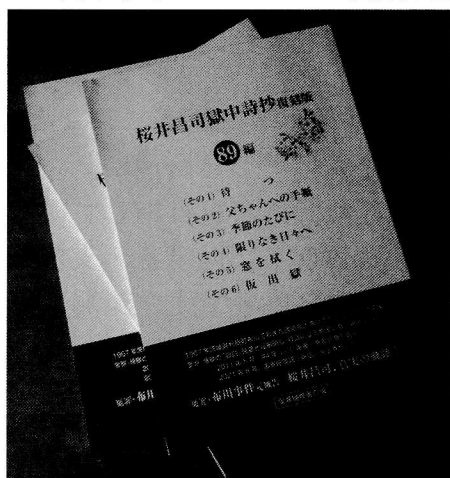
2022年 11月 国会議員会館まわり

2023年 3月 日野町事件・袴田事件で再審開始決定

2023/5/19「袴田事件の再審確定 つなげよう再審法改正へ」開催（参議院議員会館）

日弁連の中に「再審法改正実現本部」が設置され、それを「再審法改正をめざす市民」と「冤罪犠牲者の会」が支えるという図式ができました。ようやく再審法改正への機運の高まりを感じられるようになってきた昨今です。今後にご期待ください。

■今月もおススメ■ 『桜井昌司獄中詩抄』復刻版

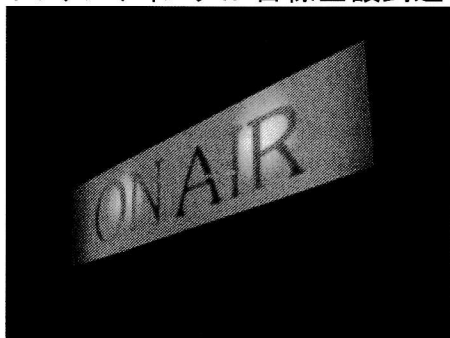


桜井昌司さんが獄中でしたためた詩を収めた『壁のうた』は残念ながら在庫切れとなってしまいました。しかし、この詩集を読みたい！ という方が後を絶たず。そこで、89編を選んだ『桜井昌司獄中詩抄』復刻版が発売されました！

気になるお値段ですが、1冊のみの発送はしていませんが、1冊なら送料込み1000円。2～9冊の場合は1冊700円（発送費込）。10冊以上ご注文の場合は、1冊500円プラス発送費1000円です。

お申し込み方法はメールの場合は、info@enzai.org まで。お電話の場合は、090-6474-4705（中澤）へ宜しくお願い致します。

■冤罪ラジオ番組「塀の中の白い花～ほんとに何もやってません」の番組延長を目指したクラウドファンディングが目標金額到達！



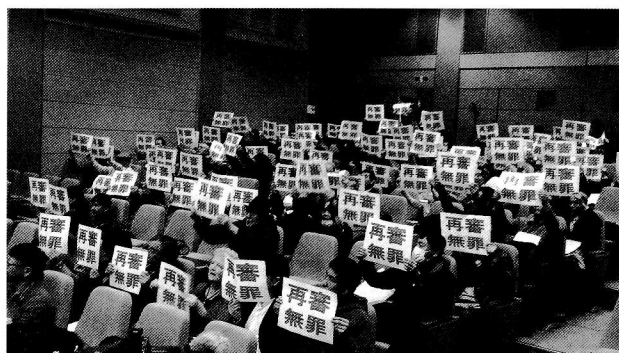
たくさんの方々にご支援・ご協力をいただき、クラウドファンディングは無事に目的達成いたしました。有難うございました。これでまたしばらく、番組を維持していくことが可能になりました。

さて、6月5日の大崎事件に続いて、7日は豊川幼児殺人事件でも、再審開始の訴えに棄却という情け容赦のない判断が出ました。袴田事件の再審開始決定は世論に押されて受け入れたが、（検察内部では）これ以上の再審は絶対に阻止するぞ！ と「御触れ」でも出している

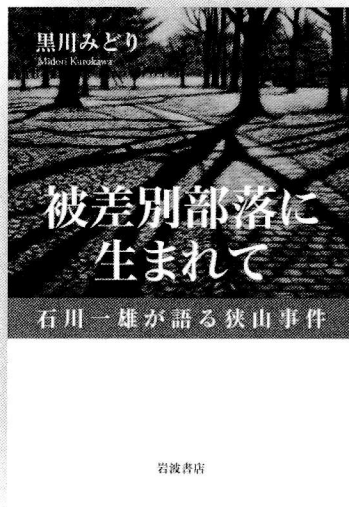
のではないかと勘繰りたくりたくります。

しかし、メディアが取り上げるこれらの事件の影で、誰も知らない、事件名もない冤罪が多数存在しています。番組では日の当たらない事件にもスポットを当てて、こんな事件もありますよ、こんなことも起きていますよ、と紹介しながら、冤罪が誰の身にも起こりうる身近な問題であることをお伝えし、一緒に考えていただくきっかけになるような番組を目指していきます。今後も宜しくお願い致します。

<http://enzaibusters.seesaa.net/>



■今月の超オススメ！■



新刊『被差別部落に生まれて —石川一雄が語る狭山事件—』
黒川みどり著

岩波書店 定価2,750円

狭山事件本は数多くありますが、冤罪犠牲者の石川一雄さんが主体となる初の書籍です。

＜内容＞戦後を代表する冤罪事件「狭山事件」。被差別部落に生まれた、ただそれだけの理由で石川一雄は殺人犯として逮捕された。貧困ゆえの無学に苦しんだ生い立ち、30年に及ぶ獄中生活と部落問題への眼ざめ、仮釈放後も続く無罪を勝ち取るための闘い——その半生を辿りながら、部落差別が冤罪を生み出したことを明らかにする。

＜海渡雄一弁護士のおすすめ文＞黒川みどり氏による本書を読みました。素晴らしい本です。私は狭山事件については、ある程度

知っているつもりでした。万年筆問題や脅迫文の筆跡鑑定など数々の捜査の不可解な点があることも聞き知っていました。しかし、この本を読んで、実は何も知らなかったに等しいと思いました。なにより、石川さんが、どのようにして文字を獲得し、社会的な意識を深めて語ることができるようになっていったのかを知ることができました。

■■ 冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！ ■■

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、220名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約20名、近親者・支援者が約150名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してくださる方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

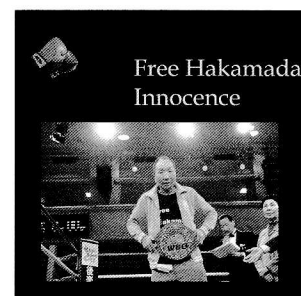
◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ



■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある会費支払方法をご参照ください。

◎冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。お急ぎの場合は080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聡）へお電話ください。個人の電話番号ですので、この点はご了承ください。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail: info@enzai.org

発行責任者 なつし聡